

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【公開番号】特開 2006-26218 (P2006-26218A)  
【公開日】平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)  
【年通号数】公開・登録公報 2006-005  
【出願番号】特願 2004-211691 (P2004-211691)  
【国際特許分類】

**A 6 1 B 3/14 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 3/14 G

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 13 日 (2007.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検眼からの反射光を撮像する撮像手段と、  
前記被検眼の蛍光の循環を検知する検知手段と、  
前記撮像手段からの映像信号を増幅する増幅手段と、  
前記増幅手段の増幅率を制御する増幅率制御手段と、  
前記増幅率制御手段は、前記検知手段の出力に応じて、増幅率の制御範囲を決定すること  
を特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 2】

前記検知手段は、被検者への蛍光の静注を開始したときからの経過時間を計時するタイ  
マーであり、

前記増幅率制御手段は、前記タイマーの計時開始からの経過時間が所定時間を越えてい  
ない場合には、前記増幅手段の増幅率の制御範囲の上限値を最大値より低い値に設定す  
ることを特徴とする請求項 1 に記載の眼科撮影装置。

【請求項 3】

前記検知手段は、前記増幅手段からの映像信号の時間変化を検知し、  
前記増幅率制御手段は、前記増幅手段からの映像信号の時間変化が予め定められた値よ  
り大きい場合には、前記増幅手段の増幅率の制御範囲の上限値を最大値より低い値に設定  
することを特徴とする請求項 1 に記載の眼科撮影装置。

【請求項 4】

被検眼からの反射光を撮像する撮像手段を有する眼科撮影装置において、  
被検眼を照明する照明光源と、  
前記照明光源の光量を制御する光源制御手段と、  
前記被検眼の蛍光の循環を検知する検知手段と、  
光源制御手段は、前記検知手段の出力に応じて照明光源の光量の制御範囲を決定するこ  
とを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 5】

前記検知手段は、被検者への蛍光の静注を開始したときからの経過時間を計時するタイ  
マーであり、

前記光源制御手段は、前記タイマーの計時開始からの経過時間が所定時間を越えた場合

には、前記照明光源の光量の制御範囲の上限値を最大値より低い値に設定することを特徴とする請求項４に記載の眼科撮影装置。

【請求項６】

前記検知手段は、前記増幅手段からの映像信号の時間変化を検知し、

前記光源制御手段は、前記増幅手段からの映像信号の時間変化が予め定められた値の範囲内の場合には、前記照明光源の光量の制御範囲の上限値を最大値より低い値に設定することを特徴とする請求項４に記載の眼科撮影装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

上記目的を達成するため、本発明の眼科撮影装置は、被検眼からの反射光を撮像する撮像手段と、前記被検眼の蛍光の循環を検知する検知手段と、前記撮像手段からの映像信号を増幅する増幅手段と、前記増幅手段の増幅率を制御する増幅率制御手段と、前記増幅率制御手段は、前記検知手段の出力に応じて、増幅率の制御範囲を決定することを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

また、被検眼からの反射光を撮像する撮像手段を有する眼科撮影装置において、被検眼を照明する照明光源と、前記照明光源の光量を制御する光源制御手段と、前記被検眼の蛍光の循環を検知する検知手段と、光源制御手段は、前記検知手段の出力に応じて照明光源の光量の制御範囲を決定することを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】削除

【補正の内容】